

中学社会科研究部 第2回研修会

8月1日（火）、中学社会科の第2回研修会は5つのコースに分かれて行いました。普段はなかなか聞くことができない方から話を聞いたり、見学できないところを訪れたりすることができました。2学期以降の授業に生かしていきたいと思います。

① 御前崎コース

御前崎港西埠頭にてコンテナヤードを中心に見学しました。御前崎市は交通体系や工業団地などの基盤整備が進んでおり、企業立地の活発化を背景に注目されている地域です。身近な地域から日本の産業を支えている海運業に対する理解が深まりました。



② 博物館コース

市内で発掘された出土品について、学芸員から解説してもらいました。博物館で、本物に触れ、地元から出土したリアリティーを感じることで、子供たちの興味が高まると共に郷土愛を強めることができると考えました。



③ YAMAHA コース

中区中沢町にあるヤマハ・イノベーションロードの施設見学をしました。また、「ヤマハのサステナビリティへの取り組み」というテーマでお話をいただきました。浜松の産業を支える企業であるヤマハの軌跡を「見て」「聴いて」「触れて」体感することができ、とても有意義な研修会となりました。



④ 模擬裁判コース

現職の弁護士の方々を講師に招き、「のび太君の模擬裁判」の演習を行いました。裁判所での体験談等、教科書だけでは分からない話ばかりで、司法に対する関心が高まりました。専門的な用語も丁寧に解説してくださり、授業に生かしたいと思いました。



⑤ 多文化共生コース

東京未来大学の中澤純一氏を招き、「多文化なまち『はままつ』～多様な人々とともにより良い社会を築いていくために～」と題して演習・講話をしていただきました。多数派と少数派を考える活動や、SDGsについて考える活動などのワークショップを通して、多文化共生社会について理解が深まりました。

